

ポカミスゼロへのアプローチ

～ポカミスは23の要因で発生し、23の対策でゼロ化できる～

日時 2025年11月5日(水)

10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム / オンライン(ZOOM)

講師 大谷 みさお 氏
株式会社ロンド・アプリウェアサービス

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック工業会連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 23社で、わずか3カ月でポカミスゼロにした実践的手法が学べます。
- ポカミス教育・ビデオ標準・集中マネジメント・AI活用による最新手法と、2Sと標準化という従来手法の組み合わせでポカミスゼロを維持できるようになります。
- AIとビデオ標準によるシステム援用により現場のモラルアップにつながります。

プログラム

1. ポカミスゼロへのアプローチ

1-1 基本的な考え方

- ポカミスとは
- ポカミスの3つの発生プロセス:計画ミス、記憶ミス、実行ミス
- 脳の機能:限界を知り対策する
- 集中力マネジメント
- ポカミス23の要因
- ポカミス23の対策
- 対策の責任区分

1-2 知らなかった対策

- ポカミス教育:12の願い(「ミスしたくない」という気持ちを持ってもらう、「どうしたら出さないか」を知ってもらう)
- ポカミスの影響と損害
- NG/OKシートの活用:初期のポカミスの80%は「知らなかった」が原因
- 報告書より対策
- ポカミス掲示板:「ミスしたくない」という気持ちの醸成
- ポカミスの顕在化:ポカミスがクレームになっている可能性がある?

1-3 標準整備

- 標準の実態
- ない標準を作る
- 標準の7つの不備を解消する
- 教育・訓練のしくみづくり

1-4 うっかり対策

- 記憶ミス対策:入力ミス、見間違い、伝達ミス
- 集中力低下の対策:自主休憩、体調管理
- これからの時代に重要な都合管理
- 環境改善:ストレスを感じ疲れが加速→集中力低下→ミスをする

- やりにくさの改善:やりにくいと気を使う→疲れる→長時間続けるとミスをする

- 余裕を持った生産計画:生産に追われる→イライラし、集中力が不足→うっかりしやすくなる

- 整理・整頓

1-5 判断ミス対策

- AIアドバイザーの活用
- 検査作業改善

2. ポカミスにおける整理・整頓の進め方

2-1 標準整備の前段階→作業時間の最適化

2-2 ポカミス防止→集中力マネジメント、片付け→始業前点検

2-3 エリアの整理・整頓、作業台上の整理・整頓

3. 標準整備の進め方

3-1 ない標準を作る

3-2 標準の7つの不備の解消

4. 教育・訓練の支援ツール

4-1 OJT頼りの教育・訓練の課題:

- つきっきり、教える相手により教え方が変わる、教える側の時間的負担と教えられる側の精神的負担が発生しがち

4-2 教育を支援するビデオ標準を活用する:

- ビデオ(動画)を繰り返し見ることによって作業イメージを頭に植え付ける教育ツール

4-3 訓練のしくみづくり:

- 教育・訓練と言いながらやっているのは「教育のみ」を解消する

5. モラルマネジメントの11の施策

5-1 モラルとは:行動規範～モラルと動機付け

5-2 モラルマネジメントの11の施策

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

